

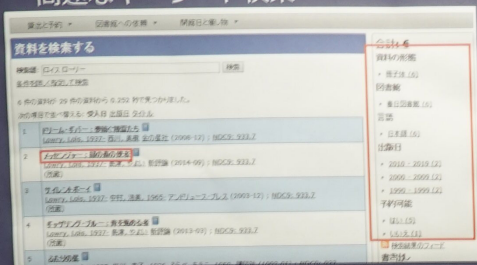


図書館員の手に図書館システムを取り戻す

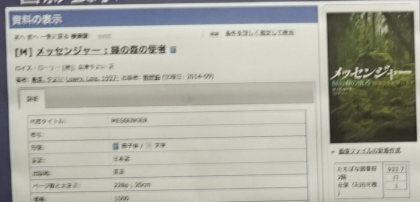
オープンソース図書館システム

Next-L Enju

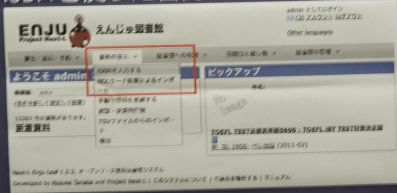
高速なキーワード検索



書影表示



ISBNを使った書誌データインポート



オープンソースソフトウェア

- 無償で利用可能
- ともに育てる図書館システム *本誌がサポート?*
- ✓ 20人以上の貢献者により支えられています。
- ✓ マニュアル完備 (インストール、初期設定、運用、利用)
- ✓ デスト用仮想マシンを提供

利用者サービス機能

- ファセットによる絞り込み表示
 - ✓ 所蔵館や出版年などによる絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果のパーマリンク
 - ✓ 個々の資料の結果画面を直接ブックマークしたり、URLを使って本を紹介することができます。
- スマートフォンからも検索可能
 - ✓ パソコンからはもちろんのこと、スマートフォンからでも蔵書を検索できます。
- 貸出状況や予約状況の確認
 - ✓ 利用者自身がスマートフォンやパソコンなどから、自分の貸出状況を確認したり、予約したりできます。

図書館業務支援機能

- 目録管理
 - ✓ 国立国会図書館の書誌データを簡単にインポートして目録を作成することができます。ISBN番号やNDL書誌ID等の識別子を使って書誌データをインポートできます。
- 一括データ入出力
 - ✓ ほぼすべての書誌データ、利用者データを、表形式のデータ (タブ区切りテキスト) として入出力可能です。業務のニーズに合わせて出力データを外部ツールで読み込んだ集計等が容易です。
- 貸出・予約管理
 - ✓ 貸出・予約管理をスムーズに行えます。
 - ✓ 個人情報保護やデータ保全などの観点から、作業や閲覧権限をログインアカウント別に設定できます。
- 統計
 - ✓ 貸出統計や利用統計を日付を指定して出力可能です。

柔軟なシステム構成に対応

自館サーバでの稼働もクラウドサーバでの設置も可能

- クラウドサーバ環境への対応
 - ✓ Amazon EC2, Heroku, さくらインターネットなどに実績あり
- クライアント端末
 - ✓ ウェブブラウザを通して利用できます。特別なソフトウェアのインストールは不要で、端末台数の制限もありません。
 - ✓ スマートフォンからの利用も可能です。

最新版：バージョン1.3.3.1
(2019年8月リリース)

1.0.0.0
2011年11月

問合せ先：Project Next-L info@next-l.jp *プロジェクト情報 2020/7/4*
 代表：原田隆史
 住所：京都府京都市上京区新町通今出川上ル
 同志社大学新町校地 図書館司書課程資料室内
<https://www.next-l.jp>
https://github.com/next-l/enju_leaf

プロジェクト Next-L